

熊事研会員の皆様へ

令和2年7月10日

熊本県学校事務研究協議会会長 宮崎文子

熊本県でまた甚大な自然災害が起きました。多くの方が亡くなり、被災した学校もあり、また避難所となっている学校もあります。仲間である学校事務職員が、自らも被災し、その中で避難所運営にあたっているかと思うといたたまれなくなります。

熊本県学校事務研究協議会としてのチームとして何かできないでしょうかと役員からも連絡があり、考えているところです。現在もまだ雨が降り続いており、まだまだ油断できない状態です。被災していない学校事務職員として、個人としてできること、今でなくても、少し先でも何かできることはないかと思案しています。皆さんもお知恵をお貸し下さい。

昨年度の第44回研究大会の第1分科会で「学校事務職員として防災を考える～災害の経験を生かして～」というタイトルで兵庫県教育委員会 震災・学校支援チームの松本亨様にご講演いただきました。研究集録を見ながら、常に自分の学校の場合とはシミュレーションの必要性を感じています。

現在、県南方面の被害の状況についても情報を取集中です。個人的に情報をお持ちの方は近くの熊事研役員までお寄せ下さい。

熊本地震の時の経験があるのでご承知おきかと思いますが、ボランティアに行くときは、くれぐれも被災地の方に負担をかけないように、自分の食料・飲み物・タオル・衛生用品等（コロナ対策含む）は持参するなどしてください。事前に自分の地域の社会福祉協議会でボランティア保険に加入しておくことで現地での動きがよりスムーズに行えます。

情報が入り、どこでどのような支援が必要か、熊事研として何かできそうな時は、また皆さんにお知らせしたいと思います。雨がまだ強く降っております。災害はどこで起きるかわかりません。まずは、自分の命を守ることを第一に考えてください。